



## CONCEPT

### “体験型アートストリート”

ミュージアムロードを人と人、施設と地域が出会う道として再構築。地域のアーティストや学生、市民が参加することができるイベントや交流の場を設けることで、アートを通じて人々が繋がる、新しい体験が生まれる回廊へと変化します。

## FEATURES

### アートが点在する“歩きたくなる街”

通り沿いにはアート作品やモニュメントが設置され、歩くだけで文化体験が生まれる街路を形成。また壁面に大きく描かれたアートは街のフォトスポットとなる。

### 週末はまちごとアートマルシェを開催

週末は駅前や歩行者天国でマルシェを開催。地域のクリエイターや飲食店が集まり、アート作品の展示・販売、フードの提供を行うことでコミュニティの活性化と更なる観光客の呼び込みを行う。

### 夜も楽しめるライトアップ演出

アート作品や街路の照明を整え、昼とは異なる雰囲気演出で夜の観光スポットを整備。高架下ではプロジェクションマッピングを行い、幻想的な雰囲気を楽しめるイベントを企画。

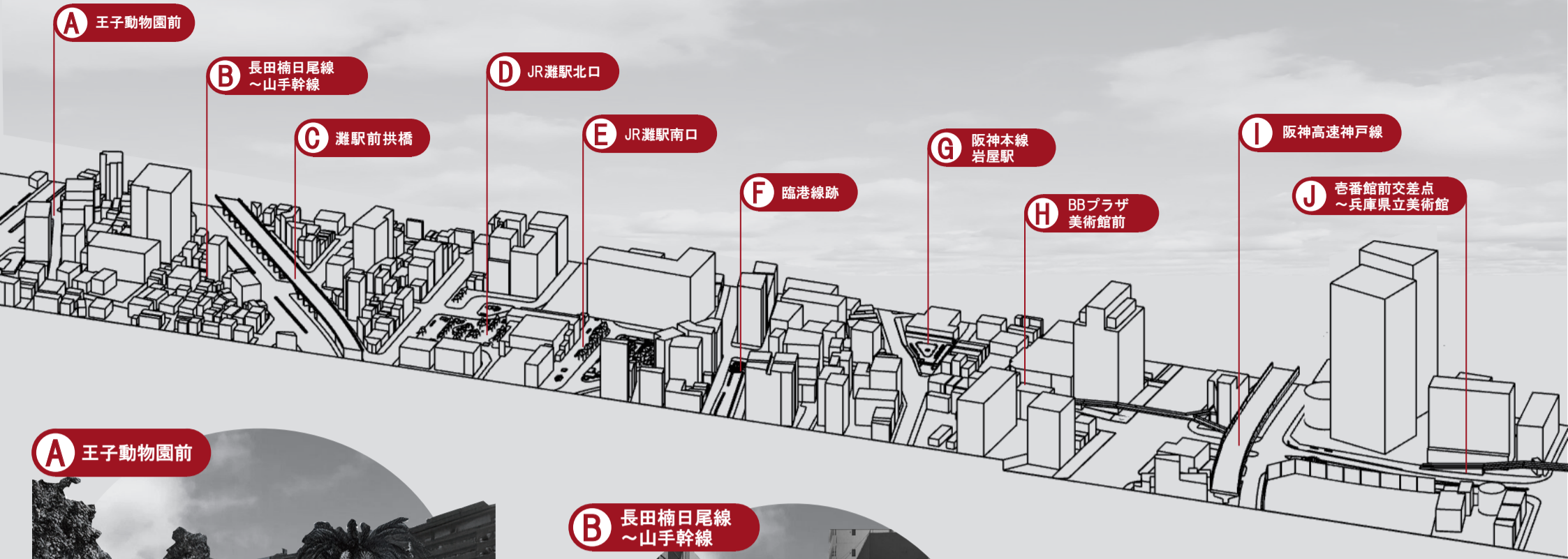
### 市民参加型のアートベンチプロジェクト

通り沿いには地域住民や地域の学生、アーティストがデザインしたベンチを設置。街中にアート作品のような多様なベンチが並び、歩くだけで作品鑑賞ができる屋外のギャラリーとなる。

### QRスタンプラリー

各スポットに設置されたインフォメーションボードのQRコードを読み取るQRスタンプラリーを開催し、観光客の滞在と回遊性を促進する。





**A** 王子動物園前



王子動物園前の通り沿いには散策途中の休憩場所となる**カフェ**を設置。提供のカップにはアートがプリントされ、休憩時間もアートに触れることができる。

**B** 長田楠日尾線 ~ 山手幹線



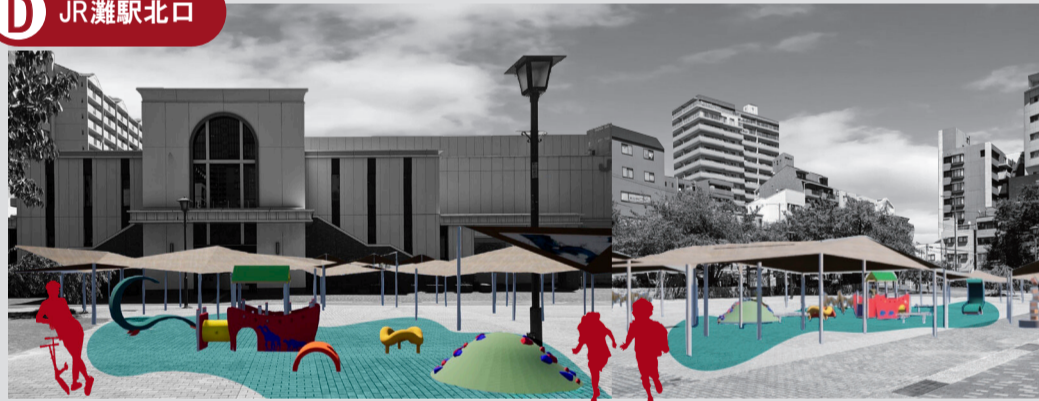
週末は王子動物園から灘駅へと向かう道で**マルシェ**を開催。フードの提供やアート作品の展示・販売を行い、通りの更なる活性化を目指す。

**C** 灘駅前拱橋



灘駅前拱橋では夜に**プロジェクションマッピング**を実施。アート作品や地域の歴史などが投影され、幻想的な雰囲気を楽しむことができる。

**D** JR灘駅北口



広場の中心には**子供の遊び場**を設置。アート作品のような様々なデザインの遊具は街を訪れる人々に親しみやすさを与え、子供に対してアートに触れる機会を作る。

**E** JR灘駅南口



駅前広場に点在するシェルターの裏にはアート作品を展示。またシェルター下には地域の学生やアーティスト、**市民がデザインしたベンチやモニュメント**が設置され、**屋外美術館**として来訪者を温かく迎え入れる。

**F** 臨港線跡



臨港線跡は地域の**運動スポット**へと変化。各所に距離表示や健康器具が設置され、トレーニングができる**地域住民の健康づくりの場**となる。

**G** 阪神本線 岩屋駅



駅前の芝生の広場は**地域住民の憩いの場**となり、週末はマルシェやワークショップなどの様々なイベントが行われる**交流の場**へと変化する。

**H** BBプラザ 美術館前



美術館前の歩道には市民や学生、アーティストがデザインした**ベンチ**を設置。坂の途中で休憩を取りながら、アートに触れることができる。

## I 阪神高速神戸線



阪神高速神戸線の遮音壁には壁面アートを描くことで、ミュージアムロードのゲートへと変化する。

J 吾番館前交差点  
～兵庫県立美術館

兵庫県立美術館までの歩道の路面・壁面にはアートが描かれ、SNSで話題になる観光スポットの1つへと生まれ変わる。

## EVENT / FUNCTION



## まちごとアートマルシェ

週末はミュージアムロード内の各所で「まちごとアートマルシェ」を開催。「芸術×食×交流」をテーマに、地域のアーティストの作品の展示・販売、地元の食材を使った料理の提供や、ライブペイントやワークショップといった様々な体験型の企画を行う。これにより地域住民の交流の更なる活性化や新たなコミュニティの形成、観光客の増加を狙う。



## アートマラソン

臨港線跡の遊歩道を利用して年数回、マラソン大会を企画。定期的に行われるイベントで地域住民の更なる交流と集客の強化を行う。



## ナイトアートウォーク

夜は高架下で映像作品を投影するプロジェクションマッピングが行われ、まちは光のキャンバスへと変化。昼とは異なる幻想的な雰囲気を楽しむことができる新たな観光スポットとなる。



## レンタルサイクル

坂道が続くミュージアムロードを快適に移動できる電動アシスト自転車のレンタルサイクルを整備。移動手段を多様化することによって散策の範囲を拡大することができる。



## インフォメーションボード

ミュージアムロードの各所にインフォメーションボードを設置。QRをスマホで読み取ることによりエリアの詳しい情報や昔の風景、開催されるイベントの情報を見ることができる。またQRスタンプラリーやARによる演出などの企画を行うことで散策をより楽しくする。

